

リハガエル

Y E L L

5
2017

第7号

表紙も職員の
力作です♪



センターパンフレット リニューアルしました



京都市

当センターが機能再編をしてから2年。「センターのことをもっと知っていただきたい!」、「もっとご利用いただきたい!」その熱い思いでパンフレットを一新しました。ホームページにも掲載していますので、是非ともご覧ください!

「地域ガエルのお出かけ講座」はじめました!

当センターの専門職員（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、高次脳機能障害支援コーディネーター等）がお住まいの地域に出向き、リハビリテーションに関連する知識や技術の向上、高次脳機能障害の支援の拡大を目的とした講座を開催します。

講師費用は無料! 市内にお住まいの方や通勤・通学されている方が、10名以上集まる集会や研修会が対象です。

ぜひお気軽にご相談ください。

《たとえば、こんなテーマでお話します》

- 支援者の腰痛予防について
～姿勢の工夫であなたのからだを守ります～
- 転倒予防
～高齢者の転倒を防ぐからだの機能維持と用具の工夫～
- 車椅子の基本操作と介助方法
～正しい操作や介助方法でより安全な外出を～
- 失語症の方とのコミュニケーション方法
～失語症の方がコミュニケーションを楽しめるために～
- 高次脳機能障害について

左記以外のテーマでもご相談ください。専門職の方だけでなく、市民の方もご利用くださいね!



研修・講座のご案内

地域リハビリテーション推進研修 多彩な講師陣が魅力!

この研修は支援者の方々を対象に、障害のある方や高齢者が住み慣れた地域で生活していただくために必要な知識や介護技術の向上等を目的として行っています。

今回は、日ごろ地域で支援されている方々のスキルアップの一助になればと、広い分野にわたり研修テーマを企画しました。昨年度にはなかった、新規テーマも続々登場です！お申込み方法等、詳しくは、当センターホームページを御覧ください。

☆講座☆ 新人研修の機会として利用される事業所もあります。経験者・ベテランの方も、最新情報が得られたり、スキルや知識を整理するいい機会になりますよ！



テーマによっては、グループワークもあります！他の事業所職員の方との意見交換をして、よい刺激がもらえます。



☆実習☆ からの動かし方や車椅子の介助方法・口腔ケアなど、より具体的な支援方法が学べます♪



少人数制なので、わからないことも聞きやすいと好評です！

高次脳機能障害入門講座

新テーマ登場!!

高次脳機能障害についての基礎知識を学ぶ入門講座。今年度は新たに、当事者やご家族の実際の経験や思い等を聞いていただく「当事者・家族からの声、関連事業所等紹介」を追加しました。

この講座はシリーズを通して学んでいただくとわかりやすいのですが、関心のあるテーマだけの参加もできます。

第1回	4月21日(金) 【終了】	10月20日(金)	「発症からのステップ～社会参加に向けて～」
第2回	5月19日(金)	11月17日(金)	「注意障害・記憶障害・遂行機能障害について」
第3回	6月16日(金)	12月15日(金)	「社会的行動障害について」
第4回	7月21日(金)	1月19日(金)	「失語症について」
第5回	8月18日(金)	2月16日(金)	「就労に向けて」
第6回	9月15日(金)	3月16日(金)	「当事者・家族からの声、関連事業所等紹介」 NEW!

時 間：午前10～11時

対象者：京都市内在住の高次脳機能障害のある方、ご家族、支援者、高次脳機能障害に関心のある方

定 員：先着70名 【当センター（電話823-1658）へお申し込みください】

参加費：無料

*詳細は、当センターホームページをご覧ください。

☆第5回☆
地域ガエルの
おしごと拝見!

京都市高次脳機能障害者支援センター



京都市高次脳機能障害者支援センター（京都市地域リハビリテーション推進センター1階相談課）で、高次脳機能障害のある方の専門相談事業の一環として行っている、就労に関する相談や支援について、2回に分けてご紹介します。

第1回目 就労に向けてのステップを考える

就労に向けての不安や焦りを持たれる方が多いですが、病院での機能的な医療リハビリだけでなく、退院後できることを増やしていく生活リハビリ、自分ができる役割や社会参加を増やしていく社会リハビリなど、どれもが回復につながっていきます。

作業体験プログラムについては、リハエール第2号で紹介したよ♪

「京都市情報館」内の「リハエール」で検索してくださいね!



当センターでは、個別相談や『作業体験プログラム（模擬職場での評価）』の参加を通して、注意障害や記憶障害など苦手になったことへの対策や、どういう作業が得意か、どんな働き方ができそうかを支援コーディネーターと一緒に考えます。就労支援の際には、復職や新たな就職だけをゴールとするのではなく、無理なく長く続けられそうか（就労定着）、職場にどのように調整すれば働きやすくなるだろうかといったことを大切にしています。

就労準備性チェック

- 1. 病状の安定
- 2. 働きたいという強い意志(自発性)
- 3. 日常生活の自立
- 4. (5~6時間の作業)×1週間の体力
- 5. 交通機関を一人で安全に利用できる
- 6. 自分の高次脳機能障害を説明できる
- 7. 障害を補いながら仕事ができる
- 8. 感情をコントロールできる

(渡邊修先生、国リハ研修資料を一部改変)

就労準備性をチェックしてみよう!

左のような項目に対する準備ができていほど、安定した就労が続きやすいと言われています。

でも、もしまだ自信をもってチェックすることができない項目があるとどうなるの？

たとえば、4番のような、作業の体力や持続力に不安がある場合は、短時間のアルバイトから始めたり、就労支援機関での訓練を経て徐々に持久力を伸ばしていくとよいでしょう。

7番のように、記憶障害のために仕事が覚えにくい場合はあまり記憶力を使わないで済むような仕事を探したり、職場にマニュアルを作ってくれるよう調整したり、記憶を補うためのメモの習慣をつけるなどの方法があります。

当センターではこのようなことを支援しています。



どのように補い、工夫すればよいか、どのような調整をすれば働きやすいかを、一緒に考えていくんだね!

京都市高次脳機能障害者支援センター専門相談ダイヤル **075-823-1658**

<受付時間>月曜日～金曜日(祝日・年末年始除く)8:30～12:00及び13:00～16:00



●次回(第8号)では、第2回目「いろんな働き方と就労支援に関わる機関について」を予定しています♪



事業のご報告



第33回京都市地域リハビリテーション交流セミナー 「震災を通して障がいのある方の地域生活を考える」

本セミナーは2月8日に、京都市南部障がい者地域生活支援センター「あいりん」研修事業と共同で開催し、110名の方にご参加いただきました。

第1部の講演では、熊本学園大学教授、弁護士で自らも被災し厳しい現実を目の当たりにした「被災地障害者センターくまもと」の事務局長東俊裕先生から、「災害の中で障害者を取り残される状況は5年前の東日本大震災の時と変わっていない」「災害時の障害者支援に何が必要なのかきちんと考えるべき」といったお話をいただきました。

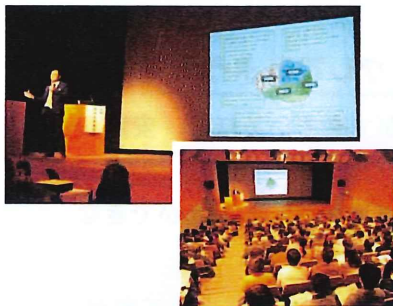
それを受けて第2部の討論会では、障害のある方やボランティアチームの方などから、福祉避難所の整備だけではなく、一般避難所をどうインクルーシブ（包括的）なものにしていくか、また障害者が地域とつながっていくためにどう取り組むべきかなど活発に意見交換や議論が交わされました。



高次脳機能障害講演会「高次脳機能障害と発達障害～子どもから大人まで～」

3月26日（日）ウィングス京都にて、脳卒中や脳外傷などによる小児及び成人の高次脳機能障害、発達障害の診断・治療に従事されている医師 橋本圭司先生をお招きし、講演会を開催しました。

講演会で、橋本先生は高次脳機能障害、発達障害、認知症の共通点、相異点の他に、「苦手なところをきたえるのではなく、良いところを伸ばす視点が大切で、10年後、20年後を見据えたプランを立てる必要がある」とお話しされました。最近の研究データやご自身の経験談を用いて、ユーモアあふれるご講演に会場の皆さんは熱心に聞き入っておられました。



アンケートでは、「高次脳機能障害・発達障害・認知症をつなげて考えたことがなかったので、今回の話は目からウロコでした。また高次の脳機能に対するリハビリを行う前に、覚醒や姿勢などからアプローチしていく点が大切だと思いました。」「イライラや大声を出す等といった脱抑制の方への対応は、自分が接している方と共通することも多いと感じました。」といった声をいただきました。

今後も様々な事業を展開し、高次脳機能障害に対する理解を深めていただけるよう取り組みますので、よろしくお願いいたします。

耳と補聴器の相談会

京都市では3月3日の「耳の日」にちなみ、毎年「耳と補聴器の相談会」を開催しています。耳鼻咽喉科専門医や補聴器業者等が検査や相談に応じます。3月2日に開催した今年の参加者からは「細かく説明していただいて安心しました」「補聴器の使い方が聞けて参考になりました」等の声があり、大変好評でした。来年も実施しますのでぜひ御参加ください。



★編集後記★ 今号ではもうすぐ3年目を迎える高次脳機能障害者支援センターの活動をご紹介しました。ご家族や支援者の方の、この障害への関心が高く、講座（2ページに掲載）、講演会（4ページに掲載）ともに、たくさんのお申し込みをいただいております。また、既に入門講座を受講された支援者の方を対象に、更に踏み込んだ内容の「ステップアップ研修」も引き続き開催予定ですので、ホームページ等をチェックしてみてくださいね。

そして地域リハビリテーション推進研修も、レベルの高い講義が無料で受講できる絶好の機会ですので、「去年も受けたから…」とおっしゃらず、ぜひホームページを御覧ください！

【リハメール】第7号 2017年5月発行
発行 京都市地域リハビリテーション推進センター
〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30番地
電話 075(823)1650(代表)
FAX 075(842)1545
Eメール rehabili@city.kyoto.lg.jp
京都市印刷物 第294192号

京都市地域リハ